

平成 25 年 9 月 26 日判決言渡

平成 25 年(行ケ)第 10232 号 審決取消請求事件

判 決

原 告 X

被 告 特 許 庁 長 官

主 文

本件訴えを却下する。

訴訟費用は原告の負担とする。

事 実 及 び 理 由

第 1 原告の求めた判決

特許庁が不服 2007-19402 号事件について平成 21 年 6 月 22 日にした審決を取り消す。

第 2 事案の概要

- 1 本件は、原告が、前記第 1 記載の本件審決の取消しを求める事案である。
- 2 記録によれば、本件訴えの提起に至る経緯は、以下のとおりである。

(1) 原告は、平成 9 年 12 月 24 日、発明の名称を「容積形流体モータ式ユニバーサルフューエルコンバインドサイクル発電装置。」とする発明について、特許出願（特願平 9-370506 号）をしたが、平成 19 年 4 月 27 日に拒絶査定がされ、これに対し、同年 6 月 14 日、不服の審判（不服 2007-19402 号事件）を請求した。

(2) 特許庁は、平成 21 年 6 月 22 日、「本件審判の請求は、成り立たない。」との本件審決をし、その謄本は、同年 7 月 12 日、原告に送達された。

第 3 当裁判所の判断

本件訴えは、平成 25 年 8 月 13 日に提起されたものであるところ、前記第 2 のとおり、本件審決の謄本の送達があった日から 30 日を経過したことが明らかであるから、本件訴えは、特許法 178 条 3 項により、不適法でその不備を補正することができないものである。

よって、行政事件訴訟法 7 条、民事訴訟法 140 条により、口頭弁論を経ないで、判決で、本件訴えを却下することとし、主文のとおり判決する。

知的財産高等裁判所第 2 部

裁判長裁判官

清水 節

裁判官

池 下 朗

裁判官

新 谷 貴 昭